

令和 2 年度
社会福祉法人大地の会 事業計画書



社会福祉法人大地の会

基本理念

法人理念1 ご利用者に喜ばれる質の高いサービスの提供

毎日の生活の中で基本的な生活行動だけでなく楽しみや生きがいを持ちながら、あらゆる面で人としての尊厳が守られなければなりません。細やかな気配りで、ご利用様が安心して生活できるよう支援いたします。

法人理念2 地域社会との共助と協働

私たちの事業は、たくさんの方のご理解やご協力が不可欠です。共に助け合い、共にご利用者様や地域の方と楽しみながら行事を開催するなど、地域の困りごとや相談に対しても協力しながら解決できるようなコミュニケーションを図ってまいります。

法人理念3 誇りを持って働くことができる人づくり

人材育成は私たちの喫緊の課題でもあります。職員が仕事に誇りを持ち、福祉の仕事に携わるにふさわしい力を持ち合わせて、働きがいのある職場づくりをしてまいります。

無限の生命を持つ大地。

生物はその一部の表現にすぎない。

中でも人間は、能力と自尊心において、他のいかなる生物にも優る。

それがゆえに、時にその立場を忘れ、己がなすままに大地に反逆を試みる。

だから大地が傷ついたとき、人間の生命はもろくも崩壊し、または損傷する。

人間が生命を限りなく燃焼し尽くし、大地の生命に同化していくことは、
最も自然の摂理にかなったものであって、最高の美学である。

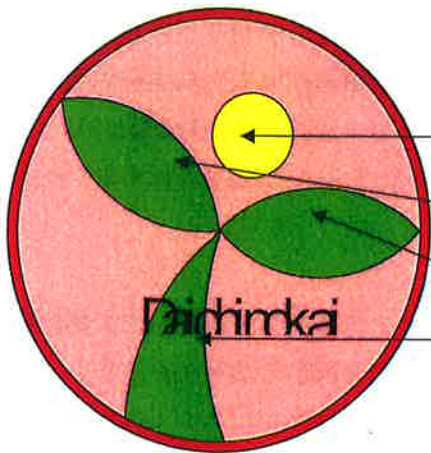
「大地の会」は、物の生命の根源を大地に求め、
そこにユートピアを創造し、
限りない人間形成を試みようとするものである。

特別養護老人ホーム『塩田ホーム』は、
その理想実現のために設立したものである。

初代理事長 金子 泰郎



20周年を記念して「新ロゴマーク」を設定



【 花 ・ 頭 】 将来果実であり、成果であります

【 大地の讃歌 】 皆様からいただいた智慧や鞭撻に感謝し、未来へ向けた夢と希望への期待

【 大地の歓喜 】 お年寄りが「健全で安らか」というホームの介護業務理念の実現への使命感と達成感

【 大地の恵 】 諸先輩の方々が築いてこられた理念や資産など、当ホームの礎となっているもの

円の中の”緑”と”黄”は、
大地に根を生やした「花」、大地にしっかり足をつけた包容力あふれる「人」を表します。

社会福祉法人 大地の会

職員育成・行動指針 ～職員がアクションを起こすための約束～

【塩田ホーム】

いつも優しさと笑顔を忘れずに、自ら考え行動します

報告・連絡・相談を怠らず相手の立場に立って行動します

【ほの里南林間】

- 1、利用者に目を向けよう
- 2、常に「自分自身」「家族」「同僚」「に恥じないように行動しよう
- 3、プロ意識を持ちましょう
- 4、自ら進んで「行動」しよう
- 5、新しいことにチャレンジしよう
- 6、納得するまで議論を尽くそう
- 7、明るく元気で前向きに

令和2年度を迎えるにあたって

今年は新年号になって初めての新年を迎えました。新しい時代の幕開けになったと同時に、働き方改革、消費税率引き上げ、また特定処遇改善など様々な変化のあった年でもありました。令和2年になり、新型コロナウイルスの感染拡大によってすべての活動に影響を及ぼしています。相模原市内でも、病院・駅・福祉施設などで感染者の報告もあり、予断の許さない状況にあります。私たちのような高齢福祉施設においてはこうした感染症の広まりはご利用者にとって命にかかわることにもなります。日々の状況変化に素早く対応し、対策をしまいたいと思います。

今年度は特定処遇改善加算という新たな加算が創設され、介護職員にとっては手当や給与として大幅に増えた職員もいます。介護職員の待遇アップとなったことは喜ばしいことで、今後もこの加算が続くことを望んでいます。一方で、そのことはなかなか人材採用に良い影響が出ているというわけではなく、依然として介護事業においても人材採用は本当に難しくなっています。引き続き、採用計画については新卒、中途採用、技能実習生や留学生の受け入れなど様々なルートを検討し、採用を行ってまいります。

人材や業務の見直し、業務仕分けなど効率化はもちろんですが、介護ロボットをはじめ、AIを活用した介助者へのケアの指導や介護計画の作成、ご利用者の健康状態の把握分析や排せつなどの予測を行うものまで多岐にわたってICT化をすることで介護職の負担軽減、介護の生産性の向上を図るような方針が出ています。法人内でもさらなるICT化を推進し、介護ロボットや効率化の見込める福祉用具の検討などをしまいたいと思います。

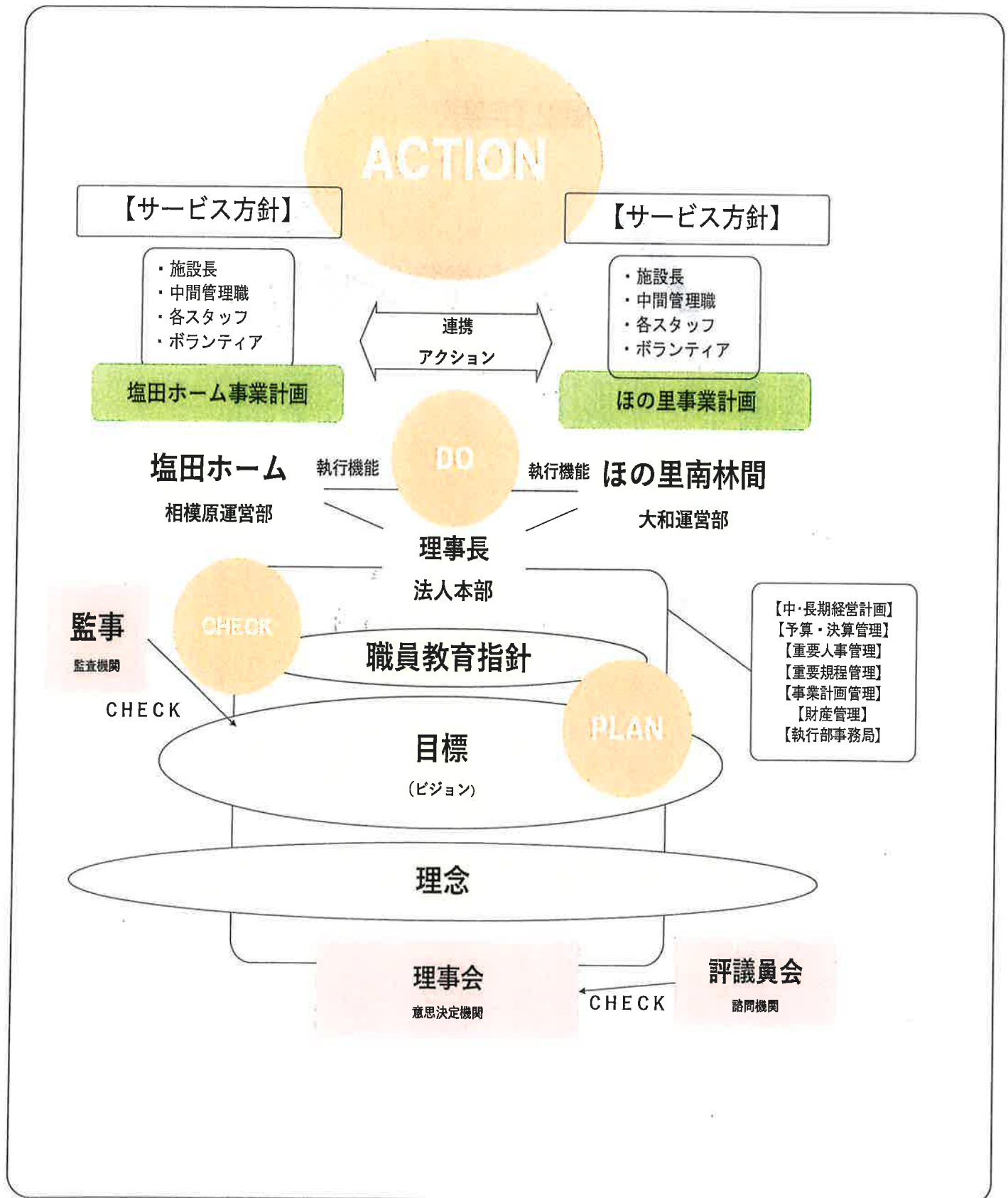
介護保険制度がまもなく創設から20年が経過し、介護費用の総額が創設当時から約3倍の11.7兆円（令和元年度予算ベース）になるそうです。第1号の保険料の全国平均は約6,000円だったものが、2040年には約9,000円程度になると見込まれています。次回の制度見直しは2025年に向け、地域包括ケアシステムの推進と不足する介護人材への対応、さらに先の2040年に向けて介護サービスの量の増加、ニーズの多様化に向けて持続可能な制度を目指す社会保障審議会で意見が出されています。

制度改正の動向も少しずつ見えてくる中で、その対応もしながら私たちが地域の中で社会福祉法人としての力を発揮し、地域福祉に貢献できるよう引き続き努力してまいります。特に、地域の方々ひとりひとりが尊重され、様々な地域社会とのつながり、その生きる力の可能性を最大限に発揮できる「地域共生社会」の実現が目指されている中、社会福祉法人がそのつながりの中核・基盤となるように期待がされています。私たちが地域の課題に積極的に取り組み、「地域共生社会」の実現に向け力を発揮してしまいたいと思います。

社会福祉法人 大地の会

理事長 佐々木 美保

相関図



令和 2 年度

塩田ホ一ム 事業計画書

塩田ホーム 運営方針(サービスの質に追求するもの)

- ・利用者の暮らしへの想いを大切に、「その人らしさ」を最大限尊重します
- ・最後まで寄り添う想いをもって接遇することを常に心がけます
- ・利用者に合わせた手作り(オーダーメイド)の個別ケアを提供します
- ・「職場づくりは自分たちで」をモットーに職種・所属を越えた連携・協働を大切にします
- ・正しい知識と技術のために、自己を振り返り、挑戦する姿勢を欠かさない努力をします

令和2年度 塩田ホーム 事業計画

サービス品質向上を目指します

★ご利用者1人1人に合わせた個別ケアを目指します

ご利用者の生活スタイルは様々です。その方の今までの生活が地域の中で継続できるようにしていきます。ご利用者を中心にご家族と介護職・看護職・介護支援専門員・生活同団員・管理栄養士などの専門職がその方にあったプランを作成し、サービスを提供してまいります。

★専門職としてサービスの中でその力を発揮し、ご利用者の生活をサポートします

様々な専門性を持った職員が多職種連携のチームを通じて、それぞれの分野からご利用者にあったサポートを行います。

★最期のときまで安心してその方らしい生活の支援を行います

最期の時までその方らしく生活を過ごしていただくためにご利用者やご家族のご意向に沿ったサービスを提供してまいります。

地域との共助と協働

★地域とのつながりを大切に

塩田ホームいろいろな行事の中でも、地域懇談会、納涼祭、餅つきなどご利用者だけでなく、地域の方々も参加する行事があります。塩田ホームに入居されても、地域とのつながりを大切にし、一緒になって楽しめるイベントを開催します。また、地域の方々が日ごろから気軽に立ち寄れる、相談できる機会を作ってまいります。介護教室など施設から情報を発信するなど、地域の方に向けてためになる講座などの企画をしたり、災害時などに地域の方々、特に要介護者の受け入れなどを行ってまいります。

地域との連携(継続)

- ・地域交流の場として開放・きっかけづくり
- ・自治会・地域団体との交流
- ・田名地区社会福祉協議会との連携(ボランティア連携)
- ・相模原市社会福祉協議会との連携(CSW 連携・ライフサポート事業連携)
- ・神奈川県社会福祉協議会との連携(県老協、各政令市高齢協との情報交換と共同事業実践)
- ・相模原市介護相談員との連携

地域との交流(継続)

- ・地域交流会(5月)・納涼祭(8月)・文化祭(10月)・もちつき(12月)・保育園・幼稚園児との交流会(3月)
- ・小学生・中学生の職場体験・ボランティア受け入れ(通年)

働きやすい職場づくり・人材育成

★職員が長く働きやすい職場づくり

- ・業務効率の良い職場を目指していきます(業務効率化・ICT化)
- ・育児・介護など家庭と仕事の両立や病気やけがなど職員の状況に合わせた働き方の提案
- ・有給休暇の計画的付与、有給消化率を向上(働き方改革への対応)
- ・障害者雇用の計画、障害者の雇用の創出と業務分担・効率化につなげます

★多様な人材の受け入れ

- ・外国人技能実習生、留学生の受け入れ(日本語検定試験・技能実習試験等サポート)
- ・障害者雇用枠として養護学校等のインターン(相模原市就労支援センターとの連携)
- ・就労体験、社会参加等支援事業・生活困窮者自立促進支援事業との連携
- ・無資格未経験者への資格取得支援

★人材育成と人事評価

- ・階層別に育成プランを計画し、OJT 及び OFF-JT による教育を実施
- ・職員教育マニュアルの見直し、リーダー育成のための教育・研修内容を検討、実践
- ・大地の会キャリアパス制度…目標設定シートの作成と人事考課表と上司による面談・評価

<研修種類>

- 外部研修
 - ・大地の会キャリアパスシステムに伴う「キャリアアップ系研修」
 - ・一般職も含めて対象にした「スキルアップ系研修」
- 内部研修
 - ・テーマ別の内部研修会
 - ・部署別で計画する研修(特定事業所加算に伴う体制づくり・新人研修含む)
 - ・全体研修

<上級資格取得の推進>

介護福祉士・介護支援専門員の資格取得支援

無資格者の初任者研修、実務者研修への資格取得支援

(研修補助の例)

- ①介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業(神奈川県社会福祉協議会 1人あたり上限 20万円貸付)
- ②介護職員研修受講促進支援事業費補助金(神奈川県 初任者研修 1人あたり上限 2万円)
- ③相模原市介護職員等キャリアアップ支援事業費補助金(相模原市 1事業所当たり上限 12万円)

令和2年度 塩田ホーム 施設部門(従来型特養・ユニット型特養・短期入所) 事業計画

部門別事業目標

本館 (従来型)	利用者様日々の生活が安楽、安心して過ごして頂く環境作り ①接遇 ②介護基本技術、知識の向上(食事、排泄、入浴)、③事故に対して意識向上、④職員教育(チームワークの向上)
新館 (ユニット型)	入居者一人ひとりが満足できる個別ケアの実践を目指します
短期入所	初心・基本を忘れず、ご利用者様の心情に寄り添い、安心できるようチームで取り組むために、職員一人一人のプロ意識を向上する

特養・短期ケアマネジメント目標

ケア目標
①ご利用者のプライバシーを守る
②利用者一人一人の"特別"を大切に
③ケアプラン目標を達成する
④介護環境向上目標
①学んだ研修を必ず活かす
②みんなで"答え"を出す
③笑顔忘れず、報連相のプロになる

事業工程表	本館 (従来型特養)	新館 (ユニット型特養)	ショートステイ	会議/研修 (内部・外部)
4月	・外出レク(お花見) ・グループレク	・ユニット別レク企画、実践	・ユニット別、合同レク企画、実践。	・ユニット会議(新館・ショート)ユニットケアについて(新館) ・本館フロア会議 ・調理規定/プライバシー保護
5月	・地域懇談会 ・グループレク	・地域懇談会 ・ユニット別レク企画、合同レク実践	・地域懇談会 ・ユニット別、合同レク企画、実践。	・事故対策勉強会緊急時の対応(1回目) ・胃腸吸引実地研修 ・ほのぼの会議・リーダー会議(新館)
6月	・家族交流会 ・白寿会カラオケ交流 ・グループレク	・家族交流会 ・白寿会カラオケ交流 ・ユニット別レク企画、実践	・家族交流会 ・白寿会カラオケ交流 ・ユニット別、合同レク企画、実践。	・ユニット会議(新館・ショート) ・本館フロア会議 ・食中毒予防研修
7月	・田名塩田子ども神輿	・田名塩田子ども神輿 ・ユニット別レク企画、合同レク実践	・田名塩田子ども神輿 ・ショートステイ夏祭り(合同)	・看取り研修(看取り介護向上委員会) ・認知症ケア研修(全体) ・リーダー会議(新館)
8月	・納涼祭	・納涼祭	・納涼祭 ・ユニット別、合同レク企画、実践。	・ユニット会議(新館・ショート) ・本館フロア会議 ・ほのぼの会議
9月	・敬老のイベント(さんま祭) ・グループレク	・敬老のイベント(さんま祭) ・ユニット別レク企画、実践	・敬老のイベント(さんま祭) ・ユニット別、合同レク企画、実践。	・接遇マナー研修 ・褥瘡予防研修 ・リーダー会議(新館)
10月	・本館利用者運動会	・ユニット別レク企画、合同レク実践	・外出レク ・ユニット別、合同レク企画、実践。	・ユニット会議(新館・ショート) ・本館フロア会議
11月	・文化祭 ・外出レク(紅葉・買い物)	・文化祭 ・ユニット別レク企画、実践	・文化祭 ・ユニット別、合同レク企画、実践。	・事故対策勉強会事故発生予防(2回目) ・緊急時対応研修(吸引器、酸素) ・ほのぼの会議・リーダー会議(新館)
12月	・クリスマス会 ・しめ縄正月飾りづくり お餅つき大会	・クリスマス会 ・しめ縄正月飾りづくり お餅つき大会 ・ユニット別レク企画、実践	・クリスマス会(合同) ・しめ縄正月飾りづくり お餅つき大会	・ユニット会議(新館・ショート) ・本館フロア会議 ・感染症対策研修(まん延防)
1月	・新年会(初詣) ・グループレク	・新年会(初詣) ・ユニット別レク企画、合同レク実践	・新年会(初詣) ・ユニット別、合同レク企画、実践。	・リーダー会議(新館)
2月	・節分のイベント ・グループレク	・節分のイベント ・ユニット別レク企画、実践	・節分のイベント ・ユニット別、合同レク企画、実践。	・ユニット会議(新館・ショート) ・本館フロア会議 ・ほのぼの会議
3月	・グループレク	・ユニット別レク企画、合同レク実践	・外出レク ・ユニット別、合同レク企画、実践。	・権利擁護、虐待(チェック表)法令順守研修 ・リーダー会議(新館)
各部門独自の取り組み	・介護ソフト活用の推進 ・グループ別のケア対応の推進	・Birthdayサービスの開始 ・ユニット炊飯の充実に向けて ・8時間夜勤の検討、実践 ・介護ソフト活用の推進	・Birthdayサービスの開始 ・ショートステイ通信(広報誌)の発行 ・外出レクの企画。おやつレク企画(随時)	・介護職としての接遇力向上を目指す ・ユニットケアに関する勉強会を実施 ・部署間ミーティング(担当者同士)を随時開催

令和2年度 塩田ホーム 在宅部門（訪問・通所・居宅介護支援）事業計画

部門別事業目標

訪問介護	①訪問介護目標・・・報告。連絡。相談。情報共有。思いやり。個々のスキルアップ。 ②有償運送目標・・・安全運転。無事故無違反。
通所介護	整理整頓・・・個別ケアの充実化を図るうえで職員間で共通の認識を高めるための情報の整理 利用者様にとって過ごしやすい環境の提供、職員にとっても働きやすい職場のための整頓
居宅介護	特定事業所としてどのようなケースにも適切なケアプランを提供できる能力を身に付け、地域に貢献していける事業所を目指します。また、介護保険だけでなく生活保護や成年後見などの制度への理解を深めるとともに、情報収集や各部署との連携を強化していきます。

在宅部門共通目標

＜稼働率目標＞ ①訪問(介護保険)・・・令和元年度支援時間の1.2倍 ②通所・・・稼働率目標90%以上 ③居宅・・・担当件数175件(介護) ④ケア目標＞ ＜利用者＞・・・家族とのコミュニケーションをさらに充実させ、自立支援をサポートしていく ⑤在宅介護の専門職を育成する
--

事業工程表	訪問介護（介護保険・総合事業）	通所介護（介護保険・総合事業）	居宅介護支援	研修計画（特定事業所加算）
4月	・ヘルパー会議と方法交換(月1回) ・福祉有償運送の車両管理と日常点検	・桜、芝桜見学ドライブ ・おやつレク	・ケアマネ定例会議(毎週水曜)	・職業倫理/法令順守について(訪問 デイ) ・特定疾患について(居宅)
5月	・ヘルパー会議と方法交換(月1回) ・福祉有償運送の車両管理と日常点検	・バラ、鯉のぼり見学ドライブ ・手作りレク	・ケアマネ定例会議(毎週水曜) ・介護支援専門員実習生受け入れ(予)	・個人情報/プライバシーについて(訪問 デイ) ・精神疾患について(居宅)
6月	・ヘルパー会議と方法交換(月1回) ・福祉有償運送の車両管理と日常点検 ・茶話会	・紫陽花、菖蒲見学ドライブ ・外食レク	・ケアマネ定例会議(毎週水曜)	・接遇・マナーについて(訪問) ・身体拘束廃止(デイ) ・管理者研修(居宅)
7月	・ヘルパー会議と方法交換(月1回) ・福祉有償運送の車両管理と日常点検	・七夕レク 流しそうめんレク ・おやつレク	・ケアマネ定例会議(毎週水曜)	・感染症・食中毒について(訪問 デイ) ・困難事例研修(居宅)
8月	・ヘルパー会議と方法交換(月1回) ・福祉有償運送の車両管理と日常点検 ・塩田ホーム納涼祭	・肝試しレク ・塩田ホーム納涼祭 ・手作りレク	・ケアマネ定例会議(毎週水曜) ・塩田ホーム納涼祭	・災害時対応について(訪問) ・認知症ケア(デイ) ・成年後見研修(居宅)
9月	・ヘルパー会議と方法交換(月1回) ・福祉有償運送の車両管理と日常点検 ・敬老レク	・敬老のお祝いレク ・外食レク	・ケアマネ定例会議(毎週水曜)	・事故対応・ヒヤリハットについて(訪問 デイ) ・地域資源について(居宅)
10月	・ヘルパー会議と方法交換(月1回) ・福祉有償運送の車両管理と日常点検	・運動会レク ハロウィンレク ・おやつレク	・ケアマネ定例会議(毎週水曜)	・感染予防 インフルエンザ対策(訪問 デイ) ・対人援助研修(居宅)
11月	・ヘルパー会議と方法交換(月1回) ・福祉有償運送の車両管理と日常点検	・紅葉ドライブ ・手作りレク	・ケアマネ定例会議(毎週水曜) ・塩田ホーム文化祭	・認知症ケアについて(訪問) ・リスクマネジメント(デイ) ・支援計画研修(居宅)
12月	・ヘルパー会議と方法交換(月1回) ・福祉有償運送の車両管理と日常点検	・クリスマス会 忘年会 ・外食レク	・ケアマネ定例会議(毎週水曜)	・介護記録について(訪問) ・介護の予防について(デイ) ・生活保護研修(居宅)
1月	・ヘルパー会議と方法交換(月1回) ・福祉有償運送の車両管理と日常点検	・新年会 初詣 ・おやつレク	・ケアマネ定例会議(毎週水曜)	・身体介護/生活援助について(訪問) ・接遇について(デイ) ・プラン作成について(居宅)
2月	・ヘルパー会議と方法交換(月1回) ・福祉有償運送の車両管理と日常点検	・節分レク ・手作りレク	・ケアマネ定例会議(毎週水曜)	・医療行為について(訪問) ・認知症研修(居宅)
3月	・ヘルパー会議と方法交換(月1回) ・福祉有償運送の車両管理と日常点検 ・アンケート調査	・梅林見学ドライブ ひな祭りレク ・外食レク	・ケアマネ定例会議(毎週水曜)	・障害者の理解について(訪問) ・避難訓練対応(デイ) ・ターミナルケア研修(居宅)
各部門独自の取り組み	・ヘルパー会議とヘルパー教育の充実 ・サービス提供責任者としてのスキル向上 ・地域に埋もれた細かなニーズへの対応 ・訪問介護利用率の向上	・定例のデイ会議の開催(研修あり) ・サービス提供時間の拡大に伴う実施送迎地域の拡大	・定例のケアマネ会議の開催(研修あり) → 法人内悪事業所担当者との情報交換(4月・10月予定)	・(訪問)特定事業所加算の継続算定とヘルパーへの個別研修計画の作成、実施 ・(居宅)特定事業所加算の継続算定と各ケアマネージャーの個別研修計画の策定、実践

令和元年度 塩田ホーム 障害福祉サービス部門 事業計画

部門別事業目標	
居宅介護 行動支援	居宅介護等…令和元年度支援時間の10%増 ②特定相談支援…実担当数40件以上 ③移動支援…令和元年度総支援時間の10%増 くケア目標く ①1人1人に寄添い、障害特性を理解し支援する ②障害福祉サービスの専門職を育成する
特定相談	安心安全に外出する。利用者一人一人の特性を理解し安心して外出ができるように支援する。
移動支援	一人ひとりが望む生活を共に考えプラン作成する。情報共有する。
移動支援	安心安全に外出する。利用者一人一人の特性を理解し安心して外出ができるように支援する。

2019年 事業工程表	居宅介護 (行動支援)	移動支援	特定相談支援	研修計画 (障害福祉サービス)
4月	・ステーション会議(常勤) ・ヘルパー会議	・ガイドヘルパー業務会議	・相談支援専門員 定例会議	・障害福祉の基礎(居宅介護)
5月	・ステーション会議(常勤) ・ヘルパー会議	・ガイドヘルパー業務会議	・相談支援専門員 定例会議	・移動支援事例検討
6月	・ステーション会議(常勤) ・ヘルパー会議	・ガイドヘルパー業務会議	・相談支援専門員 定例会議	・行動支援 事例検討(居宅介護) ・法令順守(計画相談)
7月	・ステーション会議(常勤) ・ヘルパー会議	・ガイドヘルパー業務会議	・相談支援専門員 定例会議	・障害者に対するマネジメント(計画相談)
8月	・ステーション会議(常勤) ・ヘルパー会議 ・塩田ホーム納涼祭	・ガイドヘルパー業務会議	・相談支援専門員 定例会議	・難病について(居宅介護)
9月	・ステーション会議(常勤) ・ヘルパー会議	・ガイドヘルパー業務会議	・相談支援専門員 定例会議	・対人援助技術について(計画相談)
10月	・ステーション会議(常勤) ・ヘルパー会議	・ガイドヘルパー業務会議	・相談支援専門員 定例会議	・発達障害について(居宅介護) ・リスクマネジメント研修(計画相談)
11月	・ステーション会議(常勤) ・ヘルパー会議	・ガイドヘルパー業務会議	・相談支援専門員 定例会議	・相談支援現任研修(居宅介護)
12月	・ステーション会議(常勤) ・ヘルパー会議	・ガイドヘルパー業務会議	・相談支援専門員 定例会議	・統合失調症について(居宅介護)
1月	・ステーション会議(常勤) ・ヘルパー会議	・ガイドヘルパー業務会議	・相談支援専門員 定例会議	
2月	・ステーション会議(常勤) ・ヘルパー会議	・ガイドヘルパー業務会議	・相談支援専門員 定例会議	・移動支援事例検討
3月	・ステーション会議(常勤) ・ヘルパー会議	・ガイドヘルパー業務会議	・相談支援専門員 定例会議	
各部門独自の 取り組み	・障害福祉サービスへの理解を深め、地域の障 害者支援の充実を図る。 ・外部サービス型施設との連携の強化 ・障害者への支援スキルの向上とヘルパー指導	・移動支援事業の展開(相模原市内)	・計画担当件数の増加を目指す。 (効率のよいヘルパー会議を運営する)	・障害福祉サービス特有の技能や知識の保管のた めの研修を実施する。 ・他事業所との情報交換を取り入れていく。

令和元年度 塩田ホーム 専門部門 事業計画

部門別事業目標

相談援助 (ライフサポート)	- 地域社会の一員として、地域住民のサービス利用希望に迅速な対応を図り、1人でも多くの方がご利用できるよう懇切丁寧な対応をする。 - ご利用者及び家族関係の構築と「最期まで利用してよかった」と感じてもらえるよう、塩田ホーム内外の調整役として役割を果たす。
医務室 (リハビリ)	- 継続した体調管理により、利用者の変化を早期発見し、医療への希望に沿って看取りケアを提供する。 - 個別機能訓練加算を算定できる
栄養ケア (厨房連携)	- 新しい食形態の導入により、ご利用者のADLの維持、向上を図る。形態アププを目指していく。 - ユニット炊飯、新しい食器を使用し、ご利用者が快適に過ごしていけるようにサポートを行う。

専門部門 共通目標

- 稼働率目標> ①特養:95%以上(空床期間の短縮) ②短期入所:90%以上	- ケア目標> ①円滑な入退所支援と看取り介護体制の向上 ②緊急ケースの対応の充実 ③(利用者)と家族の安心を考えたコミュニケーション ④協力医療機関等との連携の強化
--	--

事業工程表	相談援助(ライフサポート)	医務室(リハビリテーション)	栄養ケア(厨房連携)	研修計画
4月		・利用者誕生月健診	・給食会議	・医療器具取扱/緊急時対応研修(医務室)
5月	・地域懇談会	・利用者誕生月健診・利用者検尿	・給食会議	・CSW研修(相談援助) ・胃腸吸引実技研修(医務室)
6月	・家族交流会 ・白寿会カラオケ交流	・利用者誕生月健診	・給食会議	・CSW研修 生活相談員会研修(相談援助) ・食中毒予防研修(医務室・栄養)
7月	・塩田子ども神輿	・利用者誕生月健診/利用者結核健診 ・職員夏季健康診断	・給食会議	・栄養士会研修(栄養)
8月	・塩田ホーム納涼祭	・利用者誕生月健診 ・塩田ホーム納涼祭	・給食会議 ・納涼祭	・CSW研修(相談援助)
9月	・敬老会	・利用者誕生月健診/健康相談(産業医)	・給食会議 ・敬老会	・CSW研修(相談援助) ・褥瘡予防研修(医務室)
10月	・職業体験受入	・利用者誕生月健診/インフルエンザ予防接種	・給食会議	・栄養士会研修(栄養)
11月	・田名塩田地区文化祭 ・職業体験受入	・利用者誕生月健診/利用者検尿	・給食会議 ・文化祭	
12月	・しめ縄正月飾りづくり ・餅つき大会	・利用者誕生月健診/利用者肺炎球菌予防接種	・給食会議 ・餅つき	・CSW研修(相談援助) ・感染防止対策研修(医務室)
1月	・新年会 ・横山台保育園	・利用者誕生月健診	・給食会議 ・新年会	・栄養士会研修(栄養)
2月	・ふじ第2保育園	・利用者誕生月健診/介護職員(夜勤者)健診	・給食会議	・CSW研修 生活相談員会研修(相談援助)
3月	・新緑保育園	・利用者誕生月健診/健康相談(産業医)	・給食会議	
相談援助部門 独自の取り組み	- 実習生交流(実習、大学介護体験等)の推進 - 地域活動(世代間交流・各団体交流)の推進 - ボランティア活用(クラブ、行事)の推進 - 入退所検討委員会(担当) - 入所、ショートの稼働率向上対策	- 感染褥瘡対策委員会(担当) - 胃腸吸引取扱対策委員会(担当) - 看護計画の作成 - 入所者の緊急時対応(看取り対応)の充実 - ショートステイ緊急受入対応の充実 - 協力医療機関Drとの連携の強化	- 適切な栄養ケアマネジメントの作成と実践 - ご利用者にあわせた提供方法・食形態の検討	- 感染褥瘡対策委員会の主催研修 - 胃腸吸引取扱対策委員会の主催研修

令和2年 塩田ホーム 事務部門 事業計画

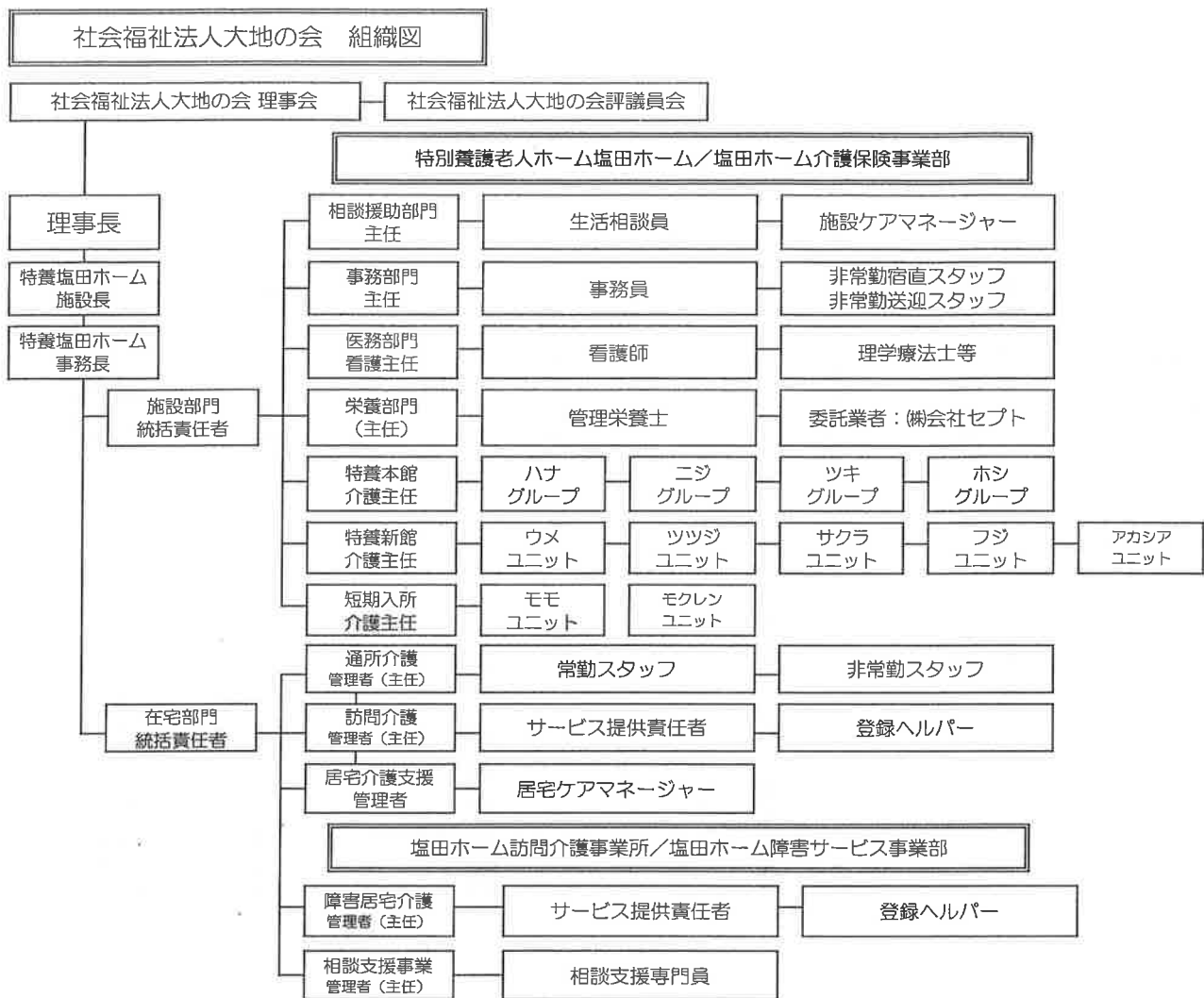
部門別事業目標

事務・経理	①法人本部の事務局機能を果たし、拠点事業所それぞれの事務費等コスト管理意識を高く持ち、連携を図る ②委託業者との連携を強化し、適切な建物運営管理を図る
労務 (労働衛生)	①職員の健康活動の向上と、メンタルヘルス相認機能を強化していく ②共有部(塩田ホーム事務所同り)の衛生管理を業務内で実践する
防災 (防災委員会)	①塩田ホームの消防計画に基づいた適切な訓練を実施する ②広域、大規模災害に備えた非常用設備の管理と非常時を想定した啓蒙活動を実践する

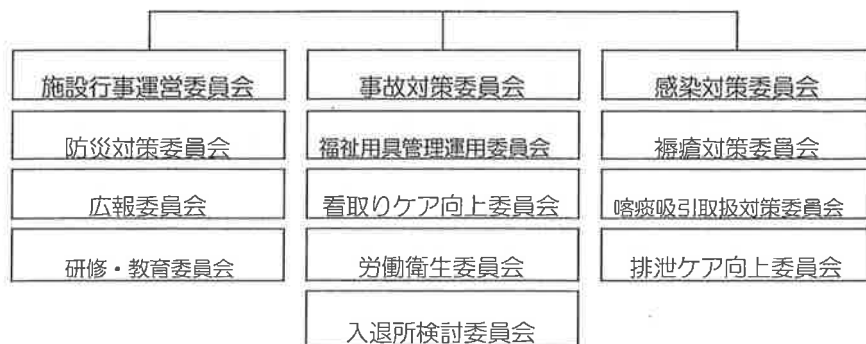
事務部門 予算管理目標(2020)

<コスト目標> ①水道光熱費の管理 ②事務費(消耗品費)の管理…令和元年度消耗品費の3%の削減目標 ③時間外(残業)の改善…令和元年度の総時間外勤務時間の10%の削減目標 ④事務所接遇力の向上
--

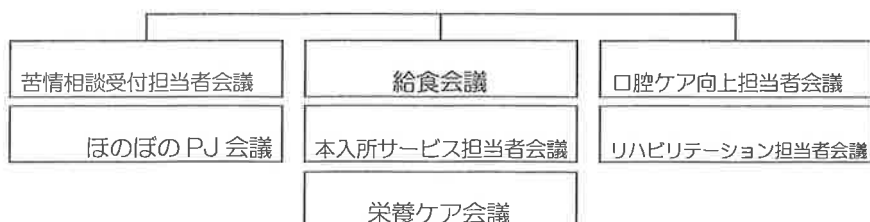
2020年 事業工程表	事務・総務(経理)	労務(労働衛生委員会)	防災計画(防火・防犯)	職員教育/研修
4月	・全職員 身上確認作業 ・定期ワックス清掃	・労働衛生委員会		・有給休暇の計画的付与について(周知)
5月	・エアコン清掃(カセット) 防設備点検作業・厨房清掃 整備(オイル交換)	・労働衛生委員会		
6月	・厨房害虫駆除作業 ・理事会 評議員会(定期 決算等)	・労働衛生委員会(産業医来所)		・空調管理(夏設定の周知)
7月		・労働衛生委員会 ・職員健康診断(全職員) ・ストレッチエグゼク作業	・消防訓練(地震・火災想定 日中想定)	
8月	・給湯器点検(特選) <塩田ホーム納涼祭>	・労働衛生委員会		
9月	・厨房清掃 <塩田ホーム敬老会>	・労働衛生委員会(産業医来所)	・消防訓練(地震・火災想定 夜間想定)	
10月	・エアコン清掃(壁掛け) 受水槽清掃	・労働衛生委員会		・空調管理(冬設定の周知)
11月	・車両整備(タイヤ交換・オイル交換) <塩田ホーム文化祭>	・インフルエンザ予防接種 ・労働衛生委員会	・消防訓練(消防設備機器の説明) ・消防設備点検 建物検査(定期) ・消火器交換	
12月	・厨房害虫駆除	・労働衛生委員会		
1月	・厨房清掃 <塩田ホーム新年会>	・労働衛生委員会		
2月		・労働衛生委員会 ・職員健康診断(介護職員夜勤業務対象者)	・消防訓練(地震・火災、火災以外避難訓練) ・福祉避難所設置の訓練	・障障害者雇用促進法に関する手続き(説明会)
3月	・理事会/評議員会(定期 事業計画等) ・受水槽点検 ・車両整備(タイヤ交換)	・労働衛生委員会		
事務部門独自の取り組み	・理事会、評議員会(随時開催対応) ・日常清掃(事務所周り等) ・経理作業連携(コンパッション税理士事務所) ・日常車両整備、管理	・衛生管理者、産業医との連携 ・事業所内巡視、環境改善	・防災計画の遵守 ・防犯活動について(定期巡視、施設個所の確認、アルソック連携)	・超過勤務状況把握・改善 ・有給休暇取得状況把握・取得計画状況の確認 ・4S活動(整理、整頓、清潔、清掃) ・事務接遇の向上(来客対応)



特別養護老人ホーム塩田ホーム／委員会組織



特別養護老人ホーム塩田ホーム／各担当国会議



令和 2 年 度

特別養護老人ホームほの里南林間 事業計画

令和2年度 ほの里南林間の目指すもの

令和2年3月 1日

理 念

ご利用者に喜ばれる質の高いサービスの提供

毎日の生活の中で基本的な生活行動だけでなく楽しみや生きがいを持ちながら、あらゆる面で人としての尊厳が守られなければなりません。細やかな気配りで、ご利用者様が安心して生活できるよう支援いたします。

地域社会との共助と協働

私たちの事業は、たくさんの方のご理解やご協力が不可欠です。共に助け合い、共にご利用者様や地域の方と楽しみながら行事を開催するなど、地域の困りごとや相談に対しても協力しながら解決できるようなコミュニケーションを図ってまいります。

誇りを持って働くことができる人づくり

人材育成は私たちの喫緊の課題でもあります。職員が仕事に誇りを持ち、福祉の仕事に携わるにふさわしい力を持ち合わせて、働きがいのある職場づくりをしてまいります。

事業計画の基本方針

1. 私たちは、利用者の立場にたった最高の福祉サービスを提供し、たくさんの笑顔あふれるほの里を創ります
2. 私たちは、誠実、公平な行動を信念とするほの里であり続け、利用者、社会の信頼を宝とします
3. 私たちは、健全経営に徹し、利用者・家族・職員に対し、継続的な経営責任を果たします。

全職員参加

1. 経営参画活動項目（経営参画項目）
（部門目標・個人目標活動の定着と強化）
2. 業務改善項目（超過勤務0を目指す）
3. 各部署事業計画の推進（全部署による活
4. 全体研修会の参加（管理職・一般職）
（管理者は、管理職研修に毎回必ず参加する）
（一般職研修は、4回のうちに1回どちらかに必ず参加）
5. 朝礼の開催
（毎朝、各部署は朝礼を必ず開催すること）

各部門の整備・充実

① 入所部門（ベッド稼働率前年度比UP 135%）短期入所含む

（各セクション別月間目標）

従来型） 29.6床 / 稼働 平均11,328千円 / 日当円
12,600円
ユニット型） 68.8床 / 稼働 平均30,942千円 / 日当円
14,800円
全体） 98.4床 / 稼働 平均42,270千円 / 日当円
13,700円

・平均介護度 要介護4

（重点項目）

1. 日常生活加算を維持しつつ稼働率を98%以上を維持する
2. 異常兆候の早期発見を行い入院を最小限に抑える

- ③ 施設内感染対策防止対策及び
安全管理体制の強化・継続教育の実施

② 短期入所部門

（各セクション別月間目標）

従来型） 9床 / 稼働 2,937千円 / 日当円 11,300円
ユニット型） 9.1床 / 稼働 3,998千円 / 日当円 14,500円
全体） 18.1床 / 稼働 6,935千円 / 日当円 12,900円

・平均介護度 要介護3.5

（重点項目）

1. 稼働率を上昇し、平均90%を達成する
2. 午後入所・午前退所の確立
3. 空床ベット活用の実施キャンセル待ち利用者の強化

- ④ 地域啓蒙活動への取組開始
自治会・市役所等協定の締結や連携

■ ぼの里南林間 会議・委員会一覧

2020/3/1

会 議 名	委 員 長	活動内容	担当/書記	日 程
介護事故防止委員会 (身体拘束適正化)	平本 ユニットリーダー	ヒヤリハット報告・事故報告・報告が多い利用者における対策、集計。身体拘束Oの取り細みの継続	平本	第3火14:10～ 14:50
感染対策委員会	草薙部長	各ウィルス及び食中毒における発生防止の取り組み。勉強会等の実施	草薙	第1火14:10～ 15:50
褥瘡対策委員会	佐治看護師	褥瘡予防や褥瘡発症時の処置・連携・ケアプラン作成等対策を講じる。勉強会の実施	佐治	第1金14:10～ 14:50
看取り委員会	板垣室長	ターミナル利用者における安全・安楽な生活への取り組み。勉強会等の実施	板垣	第2金14:10～ 14:50
排泄支援委員会	堀ユニットリーダー	オムツや排泄の適正な使用方法による検討。コスト管理、多使用者のピックアップと対策の検討。おむつメーカーとの連携	堀	第4金14:10～ 14:50
防災・防犯対策委員会	大川リーダー	年2回の避難訓練の実施。不審者や防犯対策の検討	大川	第3金14:10～ 14:50(偶数月)
施設活動委員会	矢口相談員/ 上田リーダー	全体施設の行事における企画、相談。ボランティアの受付や家族会の開催の検討	矢口	第4金14:00～ 14:50
教育委員会	松永ユニットリーダー	新人・現任職員における研修や勉強会の実施。スムーズな教育の為のマニュアルの整備	松永	第3木16:00～ 16:50
ユニット推進委員会	松本ユニットリーダー	施設内の設え、アセスメント、ケアプランを利用者本位による実務になるように適正化を図る	松本	第2火16:00～ 16:50
眠りスキャン対策委員会	大川リーダー	最新機種を利用した不眠傾向の利用者の対策や現場の使用方法による適正化の勉強会の実施	大川	第3金14:10～ 14:50(奇数月)

令和2年度 ほの里南林間事業計画

部署(ユニット)	保土ヶ谷・箱根宿
テーマ	ご利用者に喜ばれる質の高いサービスの提供
テーマに対する目標	
1. 人員・人材の確保 職員の定着	
2. 職員の資質向上	
3. ユニットケアの実践	
4. 安全で安楽な「暮らしの場」の提供	
目標に対するアクション(いつまでどのような方法で実施するか)	
1. 人員・人材の確保 職員の定着	
① チューター制度の導入	
全職員が理念を共有し、介護マニュアルを理解し(ショートカンファレンスで読み合わせを行い理解にする)実践する(2020.4月～5月末)そのうえで、新入職員に誰に聞けばいいか悩むことがないよう、答えがバラバラにならないようチューター(指導・相談役)をつける。	
② 職員内の情報の共有	
新入職員をはじめ誰もがもれなく情報をキャッチできるよう、全員が共有すべきことは記録に残し、口頭でも伝達する(現在している事の継続・強化)	
③ 職員同士が意見を言える場を作る。	
月2回ショートカンファレンスを行い、「言える場」とする。意見については何らかの回答や対応を行う(カンファレンスに毎回出れない職員が無いよう計画する)	
④ 研修への参加がしやすい職場環境を作る	
研修計画について早めの対応を行い、研修に融通し合って参加できるよう勤務を調整する。	
2. 職員の資質向上	
① 全職員が理念を共有し、介護マニュアルを理解し、食事・排泄・寝起き・入浴などの身体介護に関わる技術を身につける(職員全員がチェックリストで評価し、実践評価を行う2020.4～5月末)	
② コミュニケーション能力を身につける(接遇やコミュニケーション能力アップの研修などに参加する)	
③ エンパワーメント(利用者が持てる能力に応じて自らの意思で生活する力を引き出し支援すること)を身につける(ワンディシートやケアプランの連動から利用者にとって何が大事なのか、を考える力を身につける)	
3. ユニットケアの実践	
① ワンディシート、ケアプラン、ケア記録を連動する。職員全員が理解できるようにショートカンファレンスで繰り返し説明する(2020年4月～)	
② ワンディシート、ケアプラン、ケア記録は多職種で作成し情報共有を図る。多職種でのショートカンファレンスを行う(2020年4月～)	
③ ワンディシートの多職種での情報共有、見直し修正を行う。多職種でのショートカンファ	

レンズを行う。

- ④ ケアプランの作成とサービスの提供、評価・修正を行う。ケアマネージャー、従来型リーダーや職員と評価・修正を行う。
- ⑤ ケア記録の充実、必要な情報が記録できているか、見直し改善する。職員各自が必要な情報の記録を意識し確認し、足りない記録については互いに指摘できるようにしていく。

4. 安全で安楽な「暮らしの場」の提供

- ① 介護事故防止の実施(介護事故防止委員が中心になり実施する)
 - ・ 誤薬0を目指す。
 - ・ 転倒転落を防止する。
 - ・ ヒヤリハット記載件数を増やし、事故を未然に防げるよう検討し、実行する。
- ② 感染対策の実施(感染対策委員が中心となり実施する)
 - ・ スタンダードプリコーションの順守(職員全員がスタンダードプリコーションとは何か理解し実行できる状況にする)
 - ・ 必要に応じて。スタンダードプリコーションにプラスして、飛沫感染予防策、接触感染予防策、空気感染予防策を実施する。
- ③ 褥瘡対策の実施(褥瘡対策委員が中心となり実施する)
 - ・ 褥瘡のある利用者の状況を把握する(職員全員が把握している状況にする)
 - ・ 必要なケアを医務と相談し実践する
 - ・ 座り褥瘡の予防のため、座り直しを 30 分毎くらいに行う。
 - ・ 皮膚の乾燥を防ぐため、クリームを塗るなどのケアを積極的に行う。

令和2年度ほの里南林間事業計画

部署(ユニット)

介護課（舞坂ユニット）

テーマ

Life is beautiful（人生は素晴らしい）

テーマに対する目標

1、《思い》入居者一人ひとりの：

家族との時間を大切にし、また家族の力を最大限に用いて豊かな生活を追求します

2、《活動》入居者一人ひとりの：

暮らしの継続を支え、多職種連携で専門的能力を発揮します

3、《空間》入居者一人ひとりの：

自尊心を高め、賛辞と明るい表情が飛び交うリビングを演出します

目標に対するアクション(いつまでにどのような方法で実施するか)【いつ・誰が・何を・どのように】

1、家族との時間を大切にし、また家族の力を最大限に用いて豊かな生活を追求します

1-1、1カ月/1回、居室担当より家族へ近況報告（状態・参加状況・依頼品・散髪等・イベントのお知らせ）をおこないます。

2、暮らしの継続を支え、多職種連携で専門的能力を発揮します

2-1、季節感を持った生活が出来るように、居室に飾れる手芸を行います。

2-2、リスクに偏ることなく日々の変化にたいして、情報は【ヒヤリハット】で記録します。

2-3、入居者の変化に対して早期対応を目的に、他職種と情報共有をする。また、暮らしの継続につながるように記録を徹底する。

3、自尊心を高め、賛辞と明るい表情が飛び交うリビングを演出します

3-1、整理、整頓、掃除を行い気持ちよく過ごせる環境を整えます。

3-2、リビングでは、食前と食後にテーブルと床の清掃を行います。

3-3、居室担当は、入居者の誕生日に色紙をプレゼントし他入居者を交えてお祝いをします。

令和2年度ほの里南林間事業計画

部署(ユニット)

袋井

テーマ

古き良き時代の（どこか懐かしくあたたかな雰囲気が漂う）生活と
身体機能の維持

身

テーマに対する目標

・職員本位ではなく利用者本位の支援を心掛ける

・コミュニケーションに重点を置き、ご利用者が必要としている支援を心掛ける

・生活にメリハリをつけ活動性を上げる

目標に対するアクション(いつまでにどのような方法で実施するか)

・3

月より、おやつレクの実施（奇数月。昔懐かしいおやつを考える）

・毎日

の口腔体操、体操の実施。（DVDを活用する。）

・コミュニ

ケーションをとることにより情報収集し、1dayシートの見直しを随時実施する。

・季節ごとの飾りつけ（ひな祭り・端午の節句・七夕など）やパーティを行い、ご利用者の写真を撮ってアルバムを作成。（1年単位で作成）F aにも楽しんでいただけるように行っていく。

令和2年度ほの里南林間事業計画

部署(ユニット)

大津

テーマ

四季と花を感じられる生活

テーマに対する目標

- ・ 季節に合わせた曲を流す（一緒に歌う）
- ・ ウォールステッカーやリースなどを使い季節の花を表現し季節を感じる
- ・ 季節に合わせたお風呂のお湯で入浴し季節を感じる（ゆず湯等）他ユニットと応相談

目標に対するアクション(いつまでにどのような方法で実施するか)

●春夏秋冬に期間を分ける

春（3・4・5月）

夏（6・7・8月）

秋（9・10・11月）

冬（12・1・2月）

●観葉植物を置く

●春夏秋冬に合わせた曲を流す。また、歌い楽しむ

●ウォールステッカーやリースで季節に合わせた花を表現する

●季節に合ったお湯で入浴する。

●イベントごとも行っていく

4月に人事異動があるため、具体的な内容や担当決めは4月に入ってから決定していく。

令和2年度ほの里南林間事業計画

部署(ユニット)

吉原宿

テーマ

『でけでけ(心地いい)』

テーマに対する目標

- 1.花や種を植えたり季節ごとのイベント等の開催を通じて四季を感じてご利用者が心地よい、住みやすい暮らしにしていく。
- 2.協力ユニット(ショートステイ)の把握、連携を強化しご利用者が心地よい、住みやすい暮らしにしていく。

目標に対するアクション(いつまでにどのような方法で実施するか)

- 1-1、中庭を活用し季節ごとの花などを植えご利用者がいつでも中庭に出て楽しめる環境を作り、中庭にてくつろげるようにベンチや日よけの物を購入する。(R3, 3、31)
 - 2、居室担当が主体となりご利用者の誕生日会と誕生日カードの作成。(すでに毎月実施)
 - 3、季節ごとの設えやイベントの計画、実施に向けご利用者のどのような事をしたいか、行きたいかを聞き取り個別ケアの実施を目指す。(R3,3.31)
 - 4、心地よい住みやすい環境を整える為感染対策としてスタンダードプリコーションの厳守。
 - ・施設内感染発生率0%を目指す。
 - ・医療廃棄物の処理、分別を確実に行う。
 - ・施設内で感染症発生した場合、拡大を防止するためマニュアル厳守の対応をする。
-
- 2-1. 協力ユニット(ショートステイ)の為ご利用者、家族が利用したいと思っていただけるような関わり合いを持ちショートステイは入れ替わりが多いのでご利用者の状態の把握、ユニット職員、相談員との連携を強化し、心地よい住みやすい暮らしを目指し稼働率を上げ満床にする。(R3,3.31)
 - 2、吉原・鞠子のご利用者の変化に早く気付けるように日々の様子、変化等を職員の間でケアコラボ、申し送り、24時間(OneDay)シートで共有していく。リーダーと職員との面談の場を設け話しやすい環境を作る。月一度のユニット会議の実施。(R2,12,31)
 - 3、季節ごとの設えやイベントの計画、実施に向けご利用者のどのような事をしたいか、行きたいかを聞き取り個別ケアの実施を目指す。(R3,3.31)
 - 4.心地よい生活を送る為リスクマネジメントの徹底
 - ・ヒヤリハット月5件以上上げる。
 - ・誤薬、落薬事故を0にする。

令和2年度ほの里南林間事業計画

部署(ユニット)

鳴海ユニット

テーマ

ナチュラル

テーマに対する目標

①利用者の希望に沿ったケアを意識した取り組みを実施する

②環境、活動を通して、利用者一人一人が自然でいられる雰囲気を作る

目標に対するアクション(いつまでにどのような方法で実施するか)

- 1.全利用者1dayシートを作成後、各居室担当が利用者に聞き取りシートにて情報の取り直しを行い、その中で嗜好や思いも聞きだし職員間で共有する。
- 2.利用者一人一人の情報を基に業務内容の直し及びレクや誕生日会、空間の変更等を行う。
実施内容は毎月カレンダー方式にて必ず家族・本人が目の届きやすい場所に掲示する。
- 3.実施時には居室担当が利用者・家族に報告をし思いの確認を行いユニット会議にて報告を行う。
(面会回数が少ないご家族には電話や手紙にて活動報告等お伝えする) 問題がある内容等あれば即座に改善を行う。

令和2年度ほの里南林間事業計画

部署(ユニット)

二川宿

テーマ

自然体

テーマに対する目標

利用者や職員が飾らずに自然に過ごせる・仕事が出来る環境を整える

利用者と職員と一緒に施設での出来事を楽しめるよう、生活にメリハリをつけれるよう意識する

利用者の施設生活での自己選択を尊重しつつ、事前に事故となる状況を予測し対策をたてる

目標に対するアクション(いつまでにどのような方法で実施するか)

- ・生活環境にあった設えを考え、必要なものを検討しつつ徐々に形にしていく。利用者本位を基本としつつも職員の希望も取り入れながら過ごしやすい、働きやすい環境を整えていく
- ・監査で指摘された問題点に関して協力ユニット間で検討を行い、設えを整えると共に業務環境も併せて整えていく
- ・協力ユニットとのカンファレンスや普段からのコミュニケーションの中で職員間で意見が言い合える環境を整えていく
- ・24シートを作成後にも利用者の希望、意向に関する情報収集を行い適宜修正していく
- ・季節感を感じれるようなイベントやレクリエーションの実施、評価、設えの環境を整える事で施設で生活している中でも各々の楽しみ方が出来るような配慮を行っていく
- ・普段の生活の中での利用者の行動に目を配り、ヒヤリハットを数多く挙げ、ケアラボや24シートに対策を載せる事で職員間での情報の統一を図る
- ・ヒヤリハットの記載件数を上げ、事故件数の減少を目指す

令和2年度ほの里南林間事業計画

部署(ユニット)

鞠子宿 (ユニット型ショートステイ)

テーマ

「楽」

テーマに対する目標

①レクリエーションや設えをより充実させ、ご利用者が「楽」しく生活。他ユニットご利用者も気「楽」に足を運び会話が絶えない環境をつくる。リピーターを増加することで、1か月を通じて**1日の利用人数平均10人**を達成する

②「ショートステイ他部署との連絡調整方法の改善」&「事務作業の効率化」で無駄な職員の負担を削減。相互に気「楽」に相談、達成感をもって「楽」しく働ける環境をつくる。鞠子だけでなく、**フロア単位で年間離職数3以下**を達成する

鞠子宿スタッフ 印鑑

目標に対するアクション(いつまでにどのような方法で実施するか)

①-1 ロングショート利用者にはご家族に依頼し、居室を居心地良い空間にするための家庭の家具などを持ち込んでもらうよう依頼をかける (R2.5月末まで)

①-2 運動レクその1。ロングショート利用者よりゴルフがやりたいと希望聴かれている。中庭、もしくはセミパブ、鞠子宿内空きスペースを活用して、パターゴルフが楽しめるよう環境を整える (R2.7月末まで)

①-3 運動レクその2。ゴルフ以外の運動レクが定期的に楽しめる環境をスタッフ間で話し合い決め、1つ以上整える (R2.7月末まで)

①-4 お話相手やレクなどにボランティアなどの外的資源を活用開始。施設活動委員と協力。 (R2.10月末まで)

①-5 楽しく生活するための住まいの感染対策として、スタンダードプリコーションの厳守

- ・施設内感染発生率0%を目指す
- ・医療廃棄物の処理・分別を確実に行う
- ・施設内で感染症が発生した場合、拡大を防止するためマニュアル厳守の対応をする

①-6 ショートステイユニットでありながらも、ユニットケア推進委員会の目指すケアを真っ先に体现できるユニットとして、ご家族、相談員と協力してOneDayシートを充実させる。結果、在宅での生活リズムを尊重したケアを実施していく(長期入所者は本入居と同様に聴き取りシートを用いてOneDayシートを作成、定期的に更新。それ以外の短期入所者全員は起きる寝るの時間をはじめとした最低限の生活リズムをOneDayシートへ入力)

①-7 楽しく生活するためのリスクマネジメントの徹底

- ・ヒヤリハット月10件以上
- ・入れ替わりのあるショートステイでの誤薬事故を0にする

②-1 パソコンがフロアに1台（18名に1台）しかないため、個々の事務作業が進まない。パソコンをショート業務やOneDayシート更新などに使用するため、ユニットに1台使用できるよう申請。気楽に事務作業をすることで個々の事務アレルギーを減らす（R3.3月末まで）

②-2 鞠子単独、あるいは協力ユニット会議を毎月開催し、意見を言い合える場をつくる（毎月勤務表にて必ず設定）

②-3 リーダーとスタッフとの1対1での対話機会を月1回設定し、個々が悩みを打ち明ける場をつくる（毎月）

②-4 ユニットケア推進委員会との連携で、FacebookやInstagram等で施設の目指すケア・取り組みやユニットの楽しい雰囲気情報を発信し、求人応募につなげていく。人員を充実させる。（施設長、看護介護部長、推進委員会委員長と調整し次第）

令和2年度ほの里南林間事業計画

部署(ユニット)

相談員 (リハ・ケアマネ含む)

テーマ

利用者やご家族の意向に沿った対応

テーマに対する目標

①利用者やご家族の意向に沿った計画書の作成

②入所希望者の受け入れの円滑化

③稼働の管理

目標に対するアクション(いつまでにどのような方法で実施するか)

①利用者やご家族の意向に沿った計画書の作成

- ・ 課内、他部署との連携強化を図り、適切なプランの立案に繋げる。
- ・ 利用者や家族との信頼関係を構築し、相談しやすい環境を作る。
- ・ 課内、他部署と情報共有を行い、普段の様子を把握する。
- ・ カンファレンスを定期的に行い、意見交換の場を設ける。
- ・ 外部や地域との連携強化し、利用者に楽しみを提供する。

②入所希望者の受け入れの円滑化

- ・ 面談の際にはアセスメントシートを使用し、詳細な情報収集を行う。
- ・ 各課と情報共有を行い、受け入れが円滑に行えるように努める。
- ・ 困難事例に対しても、スムーズに受け入れ出来る環境を整備する。

③稼働の管理

- ・ 稼働表を作成し、ベッドコントロールを適切に行う。
- ・ 利用希望者に空床を紹介出来るようにベッド表を管理する。
- ・ ショートステイの稼働率を向上させる。(R 1.12月～R 2.2月の3か月間の平均空床数228床)

令和 2 年度ほの里南林間事業計画

部署(ユニット)	医務
テーマ	利用者の健康維持 リーダーとしての役割(事故・感染・皮膚ケア・褥瘡・看取り) 多職種連携 ユニットケアの実践 医材使用方法の整理と改善、業務の改善

テーマに対する目標

- ・利用者の病状の安定と異常の早期発見
- ・事故、感染、皮膚ケア、褥瘡、看取りに関して医療的な部分のリーダーシップをとる。
- ・多職種の中での看護職の役割と他職種の役割を理解し、連携を取る。
- ・ユニットケアを理解し、実践する。
- ・医材等の無駄やデッドストックをなくす。
- ・残業を減らす。

目標に対するアクション(いつまでにどのような方法で実施するか)

- ・利用者を把握しやすいよう、書類やケアコラボ情報の整理をし、活用する。
- ・体調不良時、急変時、転倒時の対応のフローチャート作成、実施し、必要時はクリニック受診や病院への搬送を行う(治療が必要な利用者への早めの対応)。
- ・事故、感染、皮膚ケア、褥瘡、看取りにかかわる各委員会での活動を行っていく。委員会での課題を医務として検討をしていく。
- ・老人福祉施設での看護職の役割を学ぶ機会を作る(外部研修など)。その中で、他職種についても学ぶ。
- ・ユニットケアに関する、内部研修や外部研修へ参加する。
- ・医材の出納を整理。部署の職員へ周知。そのデータより、無駄を洗い出し、改善方法を検討する。
- ・業務マニュアルの更新を行う。業務の見直しを行い、改善し、残業減少へつなげる。

